

オクラ情報

平成 27 年 8 月 4 日
北越後農業協同組合
青果物集出荷センター
Tel41-0770 fax41-0773

こんな症状見られませんか？

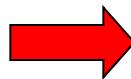
オクラ半身萎凋病の恐れがあります！！

葉の外側から色がさめていき徐々に枯込みが見られていきます。摘葉すると導管は茶色に変色して、着果負担が多くなると草勢が落ちて枯れ混みます。

土壌伝染性病害で症状が広がりやすく、今後被害を広げないためにも摘葉したら圃場外へ持ち出す等、病原菌の拡散を防ぎましょう。



※半身萎凋病の初期症状



※症状が悪化し拡散している

◎防除対策のポイント

- 症状が悪化している発病茎は、周りへの感染拡大を防ぐためにも地際まで切り取り、茎は圃場外に持ち出し処分する。
- 農機具や長靴などに付着した汚染土壌により感染が広がるおそれがあるため、発病を認めた圃場で使用した農機具等はよく洗浄した後に使用する。
- 土壌伝染性病害であるので、前作に発病を認めた圃場では薬剤等による土壌消毒を行う。
- 連作は避け、本菌に対し感受性の低い牧草(イネ科)やブロッコリーを作付け、すき込むことで土壌中の菌密度を抑制することができる。

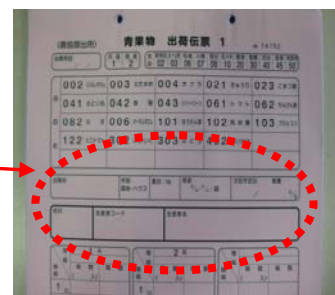
※症状や対策でのご相談は、集出荷センター又は普及センターまでご連絡願います。

☆ 出荷のお願い ☆

出荷伝票には、翌日の出荷量の目安を記入願います。

例) 8/10 10C/S(箱)

※引き続き、荷印・作型の記入の徹底と、出荷数量の確認もよろしくお願い致します。



青果物 出荷伝票 1					
002	003	004	021	023	
041	042	043	061	062	
082	008	101	102	103	
122					

◎**ワタ/メイガ、フキ/メイガの発生が見られてきました！**

被害拡大を防ぐためにも、初発での薬剤防除を実施しましょう。

薬剤名	対象病虫害	使用濃度	収穫前日数	使用回数
コテツフロアブル	ハスモンヨトウ・オオタバコガ	2000倍	前日	2回
アフーム乳剤	オオタバコガ	2000倍	前日	2回
アディオソ乳剤	ハスモンヨトウ・カメムシ類	2000倍	前日	3回
アタブロン乳剤	ハスモンヨトウ・オオタバコガ	2000倍	前日	4回
トレボン乳剤	アブラムシ・カメムシ類	1000倍	前日	3回
マトリックフロアブル	ハスモンヨトウ	2000倍	前日	2回

農薬を使用する際は、農薬のラベル及び栽培管理日誌の使用履歴をよく確認して、適正に薬剤散布を実施しましょう！

※農薬の使用基準を遵守し、使用したら栽培日誌への記帳を徹底しましょう！

◎**生育状況を見て摘葉と追肥を行いましょう！**

①草勢が強い

②草勢が弱い



対策	①草勢が強い	②草勢が弱い
状態	<ul style="list-style-type: none"> 葉は濃い緑で大きく、切り込みは浅い。 花落ちがしやすい。 施肥が多かったり、地力の高い転作田等で草勢が強くなりやすい。 節間が長く、茎も太い。 	<ul style="list-style-type: none"> 葉色は薄く、切り込みは深い。 茎は細く、葉は小さい。 砂地の圃場や収穫期後半は草勢が弱くなりやすい。 生長点のすぐ下で開花するようになる。
摘葉	<ul style="list-style-type: none"> 収穫節まで葉をおとす。 脇芽を伸ばし、養分を分散させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 収穫節から2~4枚、葉を残す。
追肥	<ul style="list-style-type: none"> 1aあたり2kg、追肥は遅らせ草勢に応じて量を加減する。 	<ul style="list-style-type: none"> 収穫開始から早めの追肥を実施する。 1aあたり3kg、20日間に1回を目安に実施する。

◎オクラ収穫も最盛期をむかえ、収穫作業も多忙となってきています。非常に暑い時期の作業となりますので、体調等には十分に気をつけて作業いただきます様よろしくお願い致します。

お問い合わせは…青果物集出荷センター園芸指導課まで ☎41-0770